

公表

事業所における自己評価総括表

|                |                               |   |        |   |
|----------------|-------------------------------|---|--------|---|
| ○事業所名          | 社会福祉法人松風会 デイ きらり              |   |        |   |
| ○保護者評価実施期間     | 2024年 12月 7日 ～ 2024年 12月 14日  |   |        |   |
| ○保護者評価有効回答数    | (対象者数)                        | 9 | (回答者数) | 7 |
| ○従業者評価実施期間     | 2024年 12月 13日 ～ 2024年 12月 20日 |   |        |   |
| ○従業者評価有効回答数    | (対象者数)                        | 5 | (回答者数) | 5 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 2025年 2月 28日                  |   |        |   |

○ 分析結果

|   | 事業所の強み（※）だと思われること<br>※より強化・充実を図ることが期待されること               | 工夫していることや意識的に行っている取組等                                            | さらに充実を図るための取組等                                   |
|---|----------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------|
| 1 | 子ども同士の関わりが良好である。出来ない所を助け合ったり、障がいの状態に応じて気にかけてくれるやさしい面がある。 | 子ども同士の関わりを重視しています。職員が仲介となり活動中の声かけや対応に配慮しています。                    | 子どもたちのやさしい面や思いやりのある行動など、関わりを通してもっと伸ばしていけるようにします。 |
| 2 | 自立へ向けての訓練として、出来ることを増やしていく取り組みを行なっている。                    | 学校を卒業し、自立へ向けて出来る事を増やすため、自分の弁当箱等を洗ったり、洗濯物を畳んだりすることを、継続的に取り組んでいます。 | 出来る事を増やすために、苦手な事や嫌な事にも少しずつ挑戦出来るように取り組んでいます。      |
| 3 | 法人内の事業所が多数あり、交流する機会や学校卒業後に利用できるサービスの選択ができる。              | 必要に応じて法人内の事業所の取り組み状況の説明を行ない、利用できるサービスの選択など、情報提供ができています。          | 法人内の他事業所の利用者と交流する機会を作り、理解を深めていけるように努めます。         |

|   | 事業所の弱み（※）だと思われること<br>※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等                                    | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等                                                                             |
|---|--------------------------------------------|------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 | 職員間での共通理解や情報共有が不十分な面がある。                   | 放課後等デイサービス職員の全員が出勤する日が少なく、会議などを行う機会が少ない状況です。         | 出来るだけ職員全員で打ち合わせや意見等を把握する機会を、定期的に設けていきたいと思っています。参加出来なかった職員には必ず伝達を行い、全員が周知できるように工夫します。             |
| 2 | 家族に対しての家族支援が不十分な面がある。                      | ペアレントトレーニングなどの専門的知識が不足しています。また、家族が参加できる研修の機会もありません。  | 子どもの状況や家族からの相談に対し、情報提供を行なっています。家族支援に対する専門的知識の向上を図っていきます。                                         |
| 3 | 地域の子どもとの交流の機会が不足している。                      | 「放課後等児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会」を活動として提供できていません。 | 一部の子どもは学童と併用しているので交流はあると思いますし、地域の行事（風除祭）や法人内の行事に参加する機会があり、それが交流の機会となっている一面もあります。交流の方法など検討していきます。 |